

**明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 第2回 地域活性化検討専門部会
議事要旨**

1 開催日時：平成30年2月14日（水）14:00～15:15

2 開催場所：明治大学黒川農場 1-A 会議室

3 出席者：[座長] 藤原特任教授

[部会員] 熊澤（正）委員、坂本委員、川端（浩）委員、川端（孝）委員、熊澤（明）委員、石井委員（島野委員代理）、古山委員、地引委員、遠藤委員、田島委員

[事務局] 川崎市麻生区まちづくり推進部企画課 安藤、福島、長瀬
コンサルタント（株）UR リンケージ 牧野、會田

4 議事

（1）平成29年度の振り返り

<主な意見>

サイン・散策マップの検討・試行

（委員）たまにだが、レジ袋などが落ちていたり、子どもが畑に入ろうとしている姿は見かける。

畑を荒らしたりするのでなければ、ちょっと遊ぶくらいはいいと思うが。

（事務局）マナー啓発についても、併せて検討していきたい。

里山景観づくりの検討・試行について

（委員）今年度は個人でコスモスの種をまいてもらったところ、お客さんが写真を撮影したり見てくれる人がいた。他にも景観づくりに参加してくれる人がいるとよい。

（委員）区から種などの配布などの補助があるとよい。

グリーンツーリズムについて

（事務局）地元農家の畑で収穫体験をし、明大の会場をお借りするなど、黒川の地域資源を活かしたイベントができ、参加者の満足度も高かった。

（委員）ダイコンの特性などを参加者に紹介すると関心をもってくれた。今後別の機会でも農場を活用できるとありがたい。

（委員）小田急電鉄のイベントでも、赤かぶやダイコンの収穫体験をおこなったが、それも非常に評判がよく、農家による甘酢漬けも好評だった。

（事務局）今年度、若い世代と親子を対象とした2種類のイベントを実施したが、今後グリーンツーリズムとしてイベントを行う時に、どんな方を対象としていくかも検討していく。

菜の花プロジェクトについて

（事務局）区の提案型協働事業として、今年度は小学生向けに菜の花がどのように油になっていくかの循環について教材を作ってPRするなどした。

里山アート制作と展示について

（事務局）今年度も地元で協力いただき、特に問題なく実施することができた。

（委員）年々、イベントが定着してきていると感じている。

(2) 平成30年度の実施計画(案)について

<主な意見>

協議会等の実施について

(委員) 来年度も協議会を2回開催予定としているが、協議会の実施の時期を見直してほしいとの意見があった。来年度の中でも協議したい。

サイン・散策マップの検討・試行について

(事務局) 今まではイベント時のみにサインを設置していたが、地域を散策する来街者のために、恒常的なサインを設置することへの必要性について検討していきたい。

(委員) 小田急電鉄が作成している散策マップなどと連携してはどうか。

(事務局) お互いに情報共有できる場合であれば連携も検討したい。但し、実際は道路上に置くことになるので、許可などの手続きや製作費などの問題もある。今後の計画を作っていく中で議論し、里地里山利活用専門部会で実施している緑地保全の取組みとも連携して検討を進めたい。

里山景観づくりの検討・試行について

(委員) ヤマユリの種や苗をもらって、有志で育てられるとよい。

(事務局) ヤマユリは育てるのに時間がかかるなどの課題もあるが、検討したい。

(委員) 農業者に負担をかけすぎずに実施できるよう、種の支援等の方法も含めて、継続して検討する。

HP等による取り組み紹介とイベントPRについて

(委員) グリーンツーリズムで収穫した野菜の料理をHPにアップするなど連携が出来ており、良い取り組みである。

グリーンツーリズムについて

(委員) 来年度も明治大学ではナスなども提供できる予定。また、加工場も提供できる予定である。

菜の花プロジェクトについて

(委員) 今年度は、菜の花の生育が悪かったが、明治大学でも継続して栽培を行う。

里山アート制作と展示について

(委員) 定着しつつあるイベントなので、発展していけるとよい。

(委員) 「緑と道の美術展 in 黒川」も、継続して実施していく予定である。

(3) その他

(事務局) 平成30年度は、これまでの計画を見直し、平成31年度以降の計画を策定する予定である。その内容については、今後の専門部会や協議会の中で検討していく。

(4) 今後の予定等

(事務局) 次回の運営協議会は3月下旬に実施予定。

<閉会>

以上